

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	入居者の皆様が、入居前よりお付き合いのある人達や場所との繋がりや継続について働きかけを行っているが、まだまだ少なく結果も伴っていない。	個々の差はあるが、全ての入居者の方々に繋がりや機会を設け、実施する。	これまで以上に希望の掘り起こし、働きかけについて機会と範囲を増やす。そのために全職員での共通の理解と意識の統一を図る。まずは、個々の情報の再整理を行う。	6ヶ月
2	2	前年度より地域密着型事業として、地域との関わりに力を入れているが十分とはいえない。	地域と今以上の関係を構築することで、事業所が入居者の皆様が地域の方々にとって有益な場所になる。	地域とのやり取りや情報収集の機会を増やすことで、活動のきっかけが出来るので、それを無駄にすることなく活用していく。併せた、併設の特別養護老人ホームに入る情報も活用していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の開催は行っているが、まだまだ有意義な会議として活用できていない。	出席者、その関係者にとって会議が今以上に役立つものにする。	基本の出席者とは別の参加者を招待したり、普段とは違う形での会議の開催など、会議がマンネリ化しない創意工夫をしていく。	12ヶ月
4	19	ご家族様が遠方な方が多く、相談内容によっては、良かれと思いい職員だけで入居者の皆様の支援を行っていることが多い。	もっとご家族様を巻き込み、入居者の皆様の支援を行っていく。	ご家族様への気遣いはあるが、相談機会を増やしたり、早めの相談を行うことで支援に参加していただく。	6ヶ月
5	11	人間関係的に狭い環境での就労から精神的なストレスが多くなっていると思われる。	ストレスの軽減	管理者が個人面談以外にも、日常的に要望や意見の収集を今まで以上に実施していく。聞くことで少しでもストレスの発散になれば良いと考える。それ以外にも、職員間での会話をもちストレス軽減を図る。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。